に支腕を来すことはなからうとつ物質歴史によって豫章の施行となるやうであるか大脳終了してとるやうであるか大脳終了してとるからなるがある。

第二回門合は二十八日午後二時か一の候御者を感中に蔵しておもので 「東京」語「歌時候世紀第五年即回」に振んでゐる、征覚商相は一・

結城藏相語る

宣答献した模様であつて國防費の 問題とは明年世界がの編成をして

将来に属する見透困難と物位體質 縁においても米だ見迹し立たざる 音線したが、十九日の間語院本館 その見造の困難なることを率直に

7日午後蔵相宮郎において左の知

強局に直面せしむべく危

あるが政府の財政政策に就でも面に亘つて思量深き方ばかりで問題が決めてある。

寫眞

はわが影響艦足柄

同五時四十五分ポークマス軍器 地でダイクトリア間を御館散 陛下内親士エリザベス般下には

長さ六四、銅三温に重るフジョ初の介料は一部五十段、鑑別の

日出に置る、ジョ

脱入として天に蓋さらは意味と出、足慌を初め外島は影響の場合との意識的なし、

は一簣に二十一部の及種館を齊號の信號を合同にイギリス組織 せられる。この時活をデルソン 御筆を経歴を終れ、別に近付か

丁九旦午後三時二十五分特別列

中心にはより自己問題と一十

ス本国際隊の治配五十八辺、地 態行される、参加脳難はイギリ コッマス廿日同盟 英帝ジ

領が避ばされたが明くれば二十

側において将来の財政派徴に陥し

東京市画」結城被相は第七十

明年度豫算編成は

として概要な位置によるが、従來の聯絡機關、全般指し、各局點の原発機關としてまた體質、整節

返火曜日に定例開催、各局長衛に官房課長が参奨して各局派の重要問題 大衆領撤退の腳躺使機だらしのることになつた、本府局を確認は他衆健既に半島跡線の部誌ともいふべき本府局投御職に収革を加べて用総督五において犬々関則すると東に斉極御極を通じ飛佐艦艦を贈してゐるが、 関語質療成果の進行に就しては貧道知事實践、繁装部長質はその他情報

移し或は指示するなど感染の質質能膨出力たらしめんとするも 意見を関した上、その可否を決定直ちに實行に 究討議した上、これを局 長會議に 提出各局長の いては内傍、財務、警務三局長において一應研 **ピーての機能を一歩前 進せしめ、重要政策に就**

ので、施武方動上の重要改革とてその成果を期待される

記て深い説問もなかつた 認事をリードするやうなことをし 配で複雑しいことはよく分つて 認事をリードするやうなことをし ことはよく分つて 認事をリードするやうなことをし

物價對策委員

會の審議方針

なくだい實際問題としてその人選 てる大體政府として脱則的に異論 の消費者代表を加へることについ ないことになってある。なほ問題 政策推進力とし

·府局長會議を強化

重要案は内、財、警三局長で事前檢討

曾議決定案は直ちに實行

本語で御傳達

の御沙汰を

下に排列面部落脚あり戦下には つジョージ六世エリザベス病性 彦人遊ばされた、南殿下にはま を卵出鍵、同十一時五十分正面一時側衝舎ハイドバークホテル は陸軍少佐の側に装に威儀を正 動行はせられた、秩文宮殿下に され鳩色のアンタースーンを石 1.門よりパッキンガム宮殿に御 された妃屋下と御風勇、午町十 キッガム党服において暖かに

世陛下より御るかありそれん された、これに對しジョーッパ

日本語にて、聖上陛下の御沙汰 皇后陛下にそれぞれ細波し遊げ に、動一等資産章をエリザバス 書を御手交遊げされ終って無係 を御悟達施はされ、大いで御観 **実置な宮に納められた大地位**

火藥使用量激增

年度は百六萬六千貫

前年比四割四分增

時半から京港道首監室に開意、本 兵隊長其の他の出席もあり、

京歌道教祭書長燈織は廿日午前八、府から伊藤等務課長、太田三

十日午前九時とり本省大り午後大彩省所管館連に移つた 十日正午開初顧問官を話取に招

【東京聖部】文部貨所管地方長官

地方長官會議

四日 文部省關係

り止于過ぎ文部省所管の資訊を終 長氏より融と質問語に想見関係る 疾頭杯業構文組より訓示をなし各 京畿道署長會議 けぶ道廳に開かる

帯記官長等出席政府側より首相は、薔薇を重ね午後一時半散命した 荒井正副都長以下各番間官、お上一部向長官出席午録をともにし限々

となってるた際観察

(57)

.

中貢 勢郎 審作

背に自粉をつけてゐた時と望つて の係へ望つて、淡田道を飲みなが ら何からつとりと考べてゐたが、 至では設備か長級牌の主、長火体 その登頭の事であった。経緯の 『だからお出でよい んには、見こみがあるこ 見こみがある。 「いくから、お出で上、おまべさ 「いざけやかった」

その顔は海黒かった。それだけ下 町風のきびきびした顔が一層きび 其臓へ落ちつきのある遺伝がし 煙管を動り、管やりと笑つて一口 長火候を阻てて差し向ひになって

即は緩縮の方をもよいと見たまく に往つてゐたところであった。六一「へんな罪を云ふが、何だい。」 で腹床の方へ往からとした。緩消 て大郎が入つて来た。大郎は都が一般った。 「おさいさん、これからどうする 幾組も笑つた。

「一ててゆつくり避んでる おやねえ 「どうずるものか、 『お俳侶さん、ゐるのだ上』 か、奴さんめるかない 、主翁の聞をた

大郎は腫いやうなほ

十数の増である
・一数の増である

大王三百九貫、四側四分の湖

宇垣大將、再び

丁二百で取年に比し三十二萬

量を見ると百大萬大千九百大

昭和十一年度中火頭消費の能 火頭消費量にも反映してある

市年に比して使用されたも の七十九英位子七百四十二 質に及び前年に比し五十二 質に及び前年に比し五十二 質に及び前年に比し五十二 質に及び前年に比し五十二 質に及び前年に比し五十二 では、一九本等で使用した数章は に出入五年で使用した数章は に出入五年で使用した数章は

節の迎脱張りを示し、これに

環域りを示し、細胞に見れば

主管を初め無務部、内務部の指制設を以て述べた、直もに監務

でまた壁るつ をしてみた。

ボク等の怪我

みんなが使ふ

みんなに役立つ

ンソレータ

マ

マのお化粧

パパの鬚そり

後四時十五分京城帰設「あかつ後四時十五分京城帰設」まかつ

委屈より重ねて観性を懇談したが宇越と正式難退回答をなしこれに對して各

交涉 東京市館融長室に松永、林正副連長地はた学塩一成大將は二十日午期十一時 【東京広話】東京市長後任の交渉

が注意事項をも提出、西脳に入つ

医細葉を動きすべしとの急気が有力で宇宙氏への変響は刊切りとなる複様である氏の智急性 宇宙氏は同三十分智芸した、市館には三度思典さべしとの能があるが自然に言って他の に倒

日開宗朝本長及び十九日の南派代表委員協議費で 【東京忠語】林内閣の打倒に働する政民権派の職塾陣は去る十四 完全な結成を終へた。既郷を偏化するや 報館に引続いて全國主要都市に本部共同主催の大演誌四、地方支 部主題の演誌音響を開催することとなる第でまた南流共同で 林首相の辞職を勸告
する層の風運手段

5

機はれつくある。しかしながら林首相の首動に欲しても眺歌に退

政民の

,共同戰線強化に努む

職打団の緊縮機能に第めること、なつてをり、二十八日の共同が る、この間身治陛下には艦橋の 持に軍器隊は ヨッド・セ ゥ・ザ・キング」の國歌を吹奏す まで三ヶ月孫の炉間かあるので政府では如何にも衝撃を以て反義際前不信យ家を明さつけ正面配突の決心。闘いてあるが、この時 主人月下仮の電腦節頭に持ち越ず惧れがあるので、この場合最低師するものとも複数されず、歴想の場合には威斯関級統領部のま

際民は民政黨の問題本部に協力、関派進行委託の支持の下に採門 7等力する一方行例林内開展別に単純することになった。即も南

国歌を三皮吹奏する「お召艦に め四次が従ふが、鉄文郎名代宮 置いて各国代表軍関記者を乗せ 西蔵を三唱し重崇除はイギリス 少將旗と共にイギリス軍艦旗を 演を掛けメーンマストには司令 機に答べて一々御答機跳ばされ 眼院を加手に御視路・各艦の敬 振揚して参列、皇帝調辿過の職 ○、 密國軍艦足柄は午前八時早 、も調整節を施して機尾に用機 には同様顕衛兵體式を行ひ錯敗 設高い玉座に出立座ばされ双

終るやネルソン態の信號により で「チャーアップ」を三覧・同 三型を従へ逐次艦列の間を縫つ 艦はメーンマストに皇帝旗を翻 各艦一斉に耐能艦を行ひ、おび ハしつゝ先歸水雷艇四歩供奉輸 て進み各職は革命衛兵の排跡、 してイギリス海峡を嵌ふ、韓龍

路らざるやうこれがプログラム配置に接続の寄むを飾つてある 天地支黄 るやも知れずとして級重等成を強つて图り 倒閣運動に對しても

いい、力味合ふところが見もの

この顕微に非風に

一部頭蛇尾に

何が際路だい、

こさせのやう双方とも原重に動

でがそんな事を云やがつて、

者でも、腹が立つが、軍師はよかはれちや、いくら閉経のやうな拙

「ちよいとお言へさんの話を引い 「ふさけちやこまるせ、てきへき たと云ふやらに鍾絹を見た。

「よかつたら、その軍師の智芸

艦列の長さ六浬、幅二浬・

けふ戴冠式觀艦式

ベス皇后と御同列にてガイク リヤ・アンド・アルバート號に

足柄琴列

離めなみい少り鮮めさせると

察知らんと欲して措かざるとこ んの脱脱の極み 皇帝の御近情を読む 国民の朝 松中四相が各地万長兵を指き 竹の間生の御禁婦、一個本子

路梁を厳成せよ

技家健康に別ものと選ぶ王の

『さうよ、おまへさんには、

いがいち よつと考へ て「待てよ

と遊ばしておくれ

7

で、わたしを今日、

一日、観びり

一我々は陛下の無楽目として常哲の氤氲、民衆の度圏については

推圏のみが報恩の方法に非ず 本日ク刊八頁 **兀教官と陸事生徒の、リレー** の良いのには脳心したと、おんな一なお西家と見こま 一部心だとも、おまへさんの勝略 一行つこともないだらう、りつば

おまへさんのすしちゃなしか

ために死す、涙を見ていたさざる

てれ

つて、その然に手をかけた。 すれや、何度かへ往きやがつて、 なしで選ばうとする影響だよこ 『ちよいと、おまべきん、၏略の ぎり汚べてないか、おまべきんのつて、その勝に手をかけた。 『どうしろと云ふほど、まだはつ大郎は錦い姿者のある野田へ注』 『それちやどうしろと云ふのだ』 言うよ、ちよいと眠つかぶりを こあんまり可愛からおかからだら 『臙脂よ、油量を持つて来て、文 やないか、お言 六郎ははじめて眼がはつきりし 大部は横にないうとして語を伝 で が、対手をさせられる高は、面白 から、また管を整くつもりだらう のやうな處にあないで、何度か財 のやうな處にあないで、何度か財 このお太陽さきの厭るのに、島龍 一年励はよかつたな、思智器と云 勝脳なら、何でも出来るだらう、 お言べさんこれ があるだらうこ

隔離お痔神密頭吹かを外肌 特 や 5 駐 選 ニ あめ け後下接端衛幣れ虫引れ

乾い侍さんこ



一九四二價 開入十十 八十五五 十二五五

锁缝纫锁

HENTHOLATU

沙四時ころ 本町二大阪 bi についても取調べを開始、 なは相 の世家であって歴典等に

づれる中流の家庭

叩は學校で賣り

や遊び

關係者の處分は

ニーペルメル

他にも連累者

ある見込み

本町署學生係の談

店から問題を、三雄、三

よしその金で支那科理国・選任の

提したので、直もに帰国、 王田

「武さ統軍に収調べを行つてある」の開名を同日夕瀬田宅から連行引

削を以つて政務帰園迎牒に
所はこれが徹底のため廿日

つてあるが、十七日午後一時半二一と連れ立つて訪れ、対職を開ける自命する様人師が出現分は眺を掘 関もなくもう一人の人相の思い男子が見べばに其城府衛生測成と「ら隣まで紹介したのも立ち去り、「

題の屋内調べをやつてあるのでは 防疫陣の活動専則を呼に利用食業力に必家の中の総置を調べるため

て疑りれてゐるので開校ではピッ つたか地から通いたか、忽然

州五茂位の洋服男が訪れ『私は京一菱を楽ました

機制衛生部はであるが一寸便所を

ら押入れに至らまで家の中をพか「部継、異郷を目覧とする者があらみせてくれ」と上りこみ、便所か「の遺霊削症出前に国血で

仮形にかららぬやうにと発信を

少方能宅した宮田氏が不派に思

ピス

副産物に大物

服女林登卿さん(こが留守田中) ろ京議営
計町七○宮田實さん方で

てやらなかつたところ、そのまと といふので林女が起しくなり開け

選民達にあきれてゐる 北陸がも断出で同名でも無味で上

リヤカー轢く

数据場については 一階年前 計言れる関盟明徴の

國體明徴の具現に

空巢の下檢分

一人組怪人物現はる

今并田政務語版の通牒を以

つて各位に、強したが、本

総監より通牒 旗の掲揚を

右につき京城保護職盟主事職好 / 導 小盟主事談

困った事件

台北に向ふ

一後六時半一路が安全配を任道(学) 脚れること二時間学にして十九日 は十九日午後四時の出枕後により た南木行移民戦りおでじゃねろ丸

、責任者として基幹申録あ、た智木学が実能りおびじゃねろし枚長の騒任をまつて打合せ、事に選ぶして停頓を除儀しくさくお扱りです。國分につい、「著述十九十百萬」思信さる大 別に不良性があるとも類 の加に不良性があるとも類 の相手関鍵をは他本 の、(日本技術学術工等に下五分) 商業校長は不在中で受機 | の神風號は二十八年町七年三 **校長歸任後** 「変形十九日回監」思はごる大概 りおでじゃ ねろ丸出帆

釈成川に三取続投

では、二十日午前九時かり伽賀二所を無事打場げた大日本相撲地町 機器技士の世界



に三国団優勝の新記録を作った大

京商裏の堤に

然と土幕

なかった十三百の土蕃が天からは「面その他の重似、瞭較循環で手伝 在ら土富を破壁里一帯に移聴させ、リヤカーが飛近を歩いてゐた能木便の毎申契中庸生の鑑かし前内に「こが駆喚する石蔵半顧を敬んに戻る以下は時内各製と網方、火京「関ニア自護弁コークス版の宗脈鬼 既臨業教校器型に前夜まで記記し、掲に倒し入事不省に陥らせた。 學被驚いて届出で 景 町番県不能住民(ま)を纏いてその

元山の種痘

を対象 ローン ドイ氏語 アイリーンとサイトを一つアルト イト語 変奏曲 (土田デアロ・

悲しみ ロッテ・レーマン シャル 1 ap Love 黒いは生れつき 白い齒こそ わが誇りし

店鎖連プンラウト國全



品本肌 那根時と同時在"にて却求め下いませ (健康的だは毎日から、一个致します) グラ E L

★ 本 子夫 子正

五丁目五拾番地 (本文) [1] [〇緒

京城府本町

۴

IJ 1

民多数の見返りを受けて悲しみの

列車十二幅で谷山

簡 やさしい英語會話 HVL

第八交線音曲

K-JV7ELB3





一十日同盟一朝日新聞社
なほ今回の征跡により戸主の死
編、開催・廃亡十三日開会師と

観火薬山の精神情報の強か上記さ 数を助以来三十五代目の情俗であ 定し直もに脱本にある背田司家に山)
な、協議の結果調整一会地路に決っる「高泉は玉朝に勝つ

公金元萬国を切留行方を属まし 辞職等七日にはよる四月上

緬羊君御入來

天氣豫報 (井三)

的成化 北の風 後には軸厩南北 西沙丘 めのは暑 部上原一北の風が掛けされ、瞬階国一西沙王 納めは暑で調

どろぼうの家

空巣團じゆす繋ぎ 明倫町一帶を荒した

干滿湖湖 二川の潮時に

の手であばかれた――熊戦「正統に選するので所続東大門衛で「不堪的雙統」でも範疇な「で)、統立があるとが触り十九日東大「日を中心に交撃が続行しその被称「妻子」と数が依とし、同じく证明「文化百前統則に曖昧・混称」されたのをほじめ附近一番の文化」ところ、楊州郡生れ住所不定上明 下に十二名のテンピラを問つし新 となり肌配の深を動いの家しに

Ø

· 中国即四一一三組在料維貨即主 | 突如一九日午後回墨和事隊は新聞

町三天の八一世

ける朝鮮神宮参介 報恩リレーの 三翁

崎鬼及買生」寄む

機能された、同點では右離恢要越」で脱五子直の原理さし自由、そこその関係観として五子直の泥解か、抜き取つたのをはじめ、原因に指す

現金選奏で記を逮捕したが、既女が原都にさしてある明知。まと

盟路祭司法院では既報の如く去る。京城が上水域和二五九金里はさん 武を探すれるや、十六日朝弘人「てある現金七百卅三回」。武嶽」の 四日京長鉛額町上九根彰緒方で一方に選び込み、フトンの下に入れ

鍾路の旅館主も檢學

にリレー式電機道中双六の元熊本幼年皇校の 師恩に巡游する数へ子三自名の揺きを受け鮮瀬南地

内で午田十一時回的神宮に参行校記付が、脚文書、前限を

勝思したが幸ひ百郎者はしかつた。 概要的人子園 がした、強げまどよくして一時は、火が怒を挟たものと思られてゐる

服

團體を組んで萬引

遂に本町署に擧げらる

京城教育界の不祥事件!

大明党系領職女工術会二権から継

月雨のあがつた半島の至には延快

近はれてゐた菌群の帰事には慈州

雨かゆり出し、雨思小足のため酒

宿舎焼く

新用が登野に取って降った……田極シーズンを前に腹桁を置し

午前六時現在野内各地の原則量は

雨

降

負傷者はない

し驚察、消防膝の活動によつて一な初夏の色が過くなった、二十日

グ葉山 を横綱

ける番附會議

の家を泥棒一味のかくれ家」

二三四城大断學部以暴科副手帕

二人の想ひり

あこがれの丘

兇

があけみ

伊 原 人 男

の心も即るまゝに又も瞻都に新名物が川來ました、意明し水が人符も耐?古花像聞として將に一年中の好季前 人々

さはやかた古漢の初夏しスポーツにピクニックに由川草

緊急ニュース

チップシステムで情様に御安心の行く=細密足の割へる居 き新製と雰囲気を織つてレビウースタイルの東京観がノウ その虫を別れて お小夜島 しょってる

た製 代 代 丸 昇

すみれ吹く

それからどうしたネ

H

昇

腦神經科 內對馬馬馬

局三二七四番

代

本町四

丁目一五五五 醫院

村店

美ムビア

き

組織に繋いてゐる。

あたしのスキー

あき十 丸

4.男

CAP CONTINUES CONTINUES

展の大衆カソエーとして原城「めての意弥制和歌野詩宗上

●面目一新の上お目は你致します

スとして戴くほサーヴスに、例全を確して居ります 目信と語とを以て伸る古人の健康を守る非常時のエフェン

遺店内には喪店の醍醐がありますから遺加は係りに却申付

上さいませ継で原門にて御求めが出来ますどし!、即利用

料なネクタノ

坍帶郵便局長

なりやこそ

主題歌 二枚 事節

思けり思います。大統領人

下さいませ

中田野科

審

盗窃

の眼をかすめて寫引團を組織し、京城府内のデバート、本屋、文房の眼をかす終記の問團を組織し、京城府内のデバート、本屋、文房、公子知らず、経過な際に語う制服制帽の商業學校生徒が街のピケ児導い

学、生徒の難客が縁者の心を縮めてみる職とて、京都道典が気局でも以つて置けず、粉内各場が行られ歌音がに大センセーションを指起してゐる、難には中央高書生徒の功島単校があり、

館と進語を取りこの際不良學生の一齊 検擧 を行って教育界の明 朗天生館の解答が論語の企を綴めてある際とて、京都監察符号局でも以って配けず、所代各對

で市を開き殴好に買り励いては支那料理店等で選與してゐた由々しき不幸事性が想象し本町

しかも盗んだ品を堂々神聖な學園に持込んで

堂々王座を占むる 六月新譜

英唱解れソレントへ ペルムラー

エット 諏訪根

自

主題歌

4

在城廣島縣人各位 一、年十七八歳より二十五歳迄の題人一、前借の御相談にも應じます一、前借の御相談にも應じます。 京城明治町(交番前) 北 谷 高 東

質は明瞭で一兩日中半頭窓局の器

ば殆んど全部の立候細者が違反【定刑】鶴城郡方規館費松洞庭昨告示財の運動など形式犯を洗へ「決づび人言うを割する

痴漢人妻を襲ふ

成果器で運動或、有地帯ら約十名、低乗器で運動は大事性に励しては所配 につき厳重取調べの結果違反の事

初夏を象徴する

顔刺たる岩鮎

密陽江に群をなして躍る

六月一日愈よ解禁

で対多果きにシズカさんを果き刺 た際、隠し持つた九寸五分の短刀 か自己里妙心寺境内に差しからつ なきものと早くも諦めをつけたの ズカさんの態度が全然複雑の意思

罵である。一方加紫春も手営を**聞**へ、道で野院に攻容したが生命危 共に南原常に駈け込み目首したの は世間倒するのをみて返り血を浴 公路を招き被害者に聴急手名を加 用憩したカルモテンを嚥下すると 競び込み合水一様を所選して弾で したので生命は那様ないらしいが で同名では現場を检過すると実に し前後左右二十一ヶ所の部間を買

の天阪、雨量、電温表に申分のない臓器さをが近年都れな販かさであつたのとその後数ファンの血を減かしてゐるが本年は昨年

せる岩脈の姿が登場することになった。然よ一日から初望の変譜に銀蝶の帯えをみ じめ劉天衛は手具難びいて得ち構べてある

をもつて經過したので認向も頗るよく昨今

っしや初夏の雪

しかも尺餘積つて二名東死

流網陽江の鮎漁は六月一日の略群を送って 【参山】 南鮮釣の名所となった洛東江の上

る情報からたいされ経典専門の電影響をは醴長五寸に及い若続が誰をなして清視に躍

河童の走り……漢江上流驟州から

看視人らを尻目に

悠々金鑛を盗掘

致され森樹事の手で附重取調べ中 孤海、清州法院支護版革分局へ送

大泥解信用は野脚製(**)を複響し、影響は駅都上角面和乗車金卸港の 【鎌笠】釜山桁草梁町金道家(を転撃) 署では十三日市日時内の 哀れな人妻放火 (釜山) 初巻日の佐岡西書

が同事性は申告が迅速であつた

市日荒し

留守宅侵入

盗んで賣る

盗んだ金は僅か一圓廿五錢

九人組檢事局送り

意先から百餘回に重つて製金し 町二丁目日宝菓子店外的百名の長

別れた妻を刺す

復縁を刎ねつけられて逆上

南原宵の血の慘劇

金代合計 百四回四十五致之間

例の〝制服の女賊〟朴女の母親

水口里一九三夏嶽及醫製造梁宏龍(價格四十九回)を窃取府內朝町 本年三月廿八日午前三時短形内下「殿方の工器に侵人就鑑の間十四斤

各學校で賦め出射を施行してゐる情味すること、なり公開堂、道職 ので釜山器では一般に環防在射を の傾向で本月緊託卅六名となった

れる時内の菓子フス思者数は謝地

池フ

漸増の傾向 注射を背風

のところすれ日素が密挺では、 4 war を加へたが及ばす同日午後一時頃 財主したが確定この選事が監視し、下言関中を案人が認起、聴意手と を加へたが及ばす同日午後一時頃 文書の選行使罪で起訴された 【蔵典】淅四本町五件団神の基金

経にた、何女は青十二日日路 署に検察された制版の女政小規関 *シの様で同樹夫から娘の不住館 【大邱】大邱のレブラ忠者は伊藤胆・芸部長の手で一緒以来形

の思究発置を同里部路裏沿東江

が途に思事が緊脱し馬山器で取割中に遺棄し何瞻はぬ難をしてるた

は無災許で摩伽と称し続公臣内では無災許で摩伽と称し続公臣内で盛んに地議を診験してみたことが避ず、総管署以に検承され岐道、 來はその個人語 森林主事補試驗

分けをしてある(宮真は小分した大畑子油)であつたものを今年は約五千本輸入し、月下

揮發油危險

力大邱曼電所戦工同一企東伯(*) 【大邱】十八八千茂四等的目下建

【平識】平南の奥地県 宣称地方は「遠域語で新深取の農人二名が健死」司法係で取調マ中のところ同人は「妻文池南(ご)丘犬が続夜の州く国

寧遠地方の天候異變

院に捌ぎ込み手宮中であるが、金物中に大火傷を行じ辿りに崇山病

◆……ところが住めば都、居は極 のでも任んだ腹が無上の拳士だっても任んだ腹が無上の拳士だっても任んだ腹が無上の拳士だった。 がたく大器り

問題につき、元山祖親では京坂組 から實施(但し鮮内取引に對して 銀に追從し簡散規約を決議、廿日 收規約實施 行の手敷料

三日白書、清安直業合里所在、俗「悠、ホー販は膨慢」とを懸命して「これを捧り嬲行する臓へをして養崔破療(こ)の五名は去る四月二十一を除く八名が育々南京楚、懐中電「松虹太を援き取つて来て手に手に

一雜貨商岩本小太郎氏方に朝鮮食午後十一時頃蘭県御龍宮面凸里三

【大印】職界署では去る三月五日

體泉の强盗

誤記入を利用して

郵便貯金を騙取

新米事務員がとんだ失敗

三十女の惡事露見

刀を持つて侵人、悲女化すさん(* とを脅迫して現金八個を出させ受

チフス

取三丁自日完整子配外隊首名の徽|鰹原郷のボグラに落富、同時に金、倒何れも二悪間の遺骸を買つたが、も緘髪したしたが三般の資金脱を認取したも本年一掃蝦ぎで三ヶ年熊の間に本|然置撃がはげしくなつたと黜つた|熊熙の自戦戦に黙電し金を賭は器・圓家の推摩説にも悪電回家の一部|五四金忠英:『に会十九圓で寶珥

本語 竹村製劑所大阪市南外水原市

関で数はれ、歴望型を切り輝し時 生じてゐるのを延見し危険の一步 のローラーベヤーリングに襲撃を

の際平地震脈検ル医員が同歴認地

【平識】十九日午明七時廿五分節

ひかり、遅る 展望車に故障

岩野島

ひかり

が平域際に到着

みを感する。 注意 御買求めの際は必ず 整体上 自家原放 光系文は自教は上 自家原放 光系文は自家原文学に 愛え受に 種って 後はて 飲まな 日に 遭つて 佐 様に できない 最近 できる しょう はん いまい しょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん 第に快感を覺ゆ。 臭を放つて排出し大 臭を放つて排出し大 見を放って排出し大 りで、 の吸收速 本劑の特徴 便 共二日分 工酬 十二日分 工酬 ! 指 津々浦々に 第をより真に頭腦を明快健全にし、 正して鬱血と毒素を排除し、遊に痰 大き安眠と便邇を興え、脳の血行を な頭痛樂と異り、一種で神經を強め 記憶力を増大する別があるからです 真の健脳楽さして 憂鬱、神經衰弱の人便秘、逆上症の人 不眠に悩み、頭重き人 だ画家、野講者が常用せば血行を事務家、學生諸氏の服用を襲む 頭痛、めまひに苦む人 良くし、中風、卒中を豫防す。 類様 五十級より十萬海 全国 東西 ある

娘の不仕鱈を詰られ へ面當て自殺

民中丸一院優裕一座五十歳の法文 八日は一段、本月三日は三段をそ 選する如く翌つて職取・同月二十 かあつたと主人を称問しこれを配 **殿間、宝た本年四月**一十日午後 時頃、本町二丁目式衛駅カル木

章を傷造して視聴の上主人の目をめ、その態は戦取緩に変取人の印 れぞれ右同様手段できんまとせし

違反事實は明瞭 咸州郡選出任道議

日朝水上窓のランチが出動、附近、紀に愛木、去る十四日保護の 上で選手官
「後山」十九日午前窓時過ぎ参山 みこの世に生張する添彫なく自殺 したことを定用とは愛でせんとしたが抵抗されて目的を望むす逃走 する郷太郎生ごと 歴歌に記してあ 取割べ中 に認められた演出一海があるのを るのみで身許不明である

るや法る十七日曽脳に乗り込み登しきりに観察を迫つたが一蹴され

の金子方に身を寄せてみた慶福五 11 年間に台部の上で難婚したシ

和八年九月館から金町三丁目本総、熈郡・元)は郷歌らよ。と残に同面、内本町、八原館の顕着郷で宋永男州呂清永町居在、秋巻行(よ)は昭(後五時郷大同郎町山町京部里寛宗) 【『仏郎『行』化 【平道】 宿(下海) 都内北)画歌郷里生れば 【平道】 第公大拳れ……十七日午

雷公大暴れ

れて開るなく同年十二月末後らか「里並承嬌方の低下で眼窩りの際笑」下取調べを受けてあるが、聞人は 商小山運道氏方の店別として雇は、上頭里で路壁交りの衛明に通び同(三)は十八日平鐘客に被罪され目

のは強と変を見

蔓延の生があるので容易では邑内 道工事で服つてゐる前面原に十七 **独チンスが気もや頭をもちあげ**

日一度に七名の思者が認生した。

【新義州】一時小康狀態にあつ

迎んだものと見て整戒中

嬰兒死體遺棄

▲ 試験場所 思北道殿曾設宝、 大川郷路曾設室、忠州郡路會設 宝本受験順書 所定総式により 近極寒、戸雅昭本、窓段、身分 が歴史、忠州郡路會設置、 「林主事領試験を施行する 「活州」忠北道では左の通り地方

架設制常製は優先二十四を加く年度発量問通電話の推覧を行く 心臓・中部青江五百二

た平道院及び平卸では今更の如く監ぎで幸ひ危険を米然に防止し得 際地の思想な光色を質点してゐる

重れて登事した、一時は非常な一、二等合同車を連結し四十一

頭腦 明快



潤

製

POWDER

MASTER FACE

す

î

化沙等者提所受 夏以外五元

歌に睫を挙ずるものに刻し、其の於かせられては、朝鮮の職場の處 第音を創設間の配出を以て、側内 お金下腸の歯が法を発した事は既務金下腸の歯が法を発した事は既

かの如うば監験性の職務と生活と き御地解をして蔵き「燈光間」に を即断がして、腱靴に腕する正し

> に嫌るところかないのであります 之領海運業と水産業の誘眼は精散

従つて其職務たるや實に既依で、

の理台であつて、西部北支加救路(八十五)年)

七發島燈台

て国家事業に携はつてゐるの

なりました、此の駆激の折に高り

般社會の方々の常識圏外にある 水久には国際地を原助する事に

何分の御後援あらんことを御鎖す

対が質用品となったのも、交債経動が質用品となったのも、交債経 里立 例を上げて見ますと木組と 総立して、この有職きの社を記念 を基として財職法人「協定的」を を基として財職法人「協定的」を

なく、更に市を見直して海より の資金勝高に吹たなければなり 海延と水鹿の展別如同に関目の 勝時を左右すると申しても取て 過音ではないと思ひます

館を思行に副ひ葬るべく四々と

遞

信局に

てはこの

に陸上のみ俟つの別般に

DE DE TENTE.

HDE A CHINELES PER STEELE
HDE A CHINELES PER STEELE
HDES CHARE AUTOBLES WIR
DEN AUFLAFEN DER ZUKUNFT
HIGHT SCHWÄCHER SONDERN
HUM NOCH STÜNES GEGENÜBERTRETER WEEDEN, LIKEL DEN LESOUT UND DEN LIKEL DEN LESOUT UND DEN LIKEL DEN LADEEN WIRD WIRDER STHEN DIE
MATIONAL SOZIALISTIS ZIE TAT

◇城大マンドリン邸では二十二日 (土) 午後九時から城大譜堂で 第十五回定那公園會を聞く

母 安治とに分れ思に即種治園からる 日 (四四五十歳、東京治野島島地及で四、四四五十歳、東京治野島島地及人物等行政(五月線)物辞経時と 人物等行政(五月線)物辞経時と

は、來る六月一日から。今年島文新人交響の敗留、雜誌並人交響

軽行所は成北晋州

京仁柳朱安静に二時二十分者、磯田耶薬の別義を暗眺の上午後五 時五十分絕不歸城▲郡資金韓逝三于超稱▲新見六月中▲主期主的韓於其心國《安建時間的及本賦

旦解散の上更に午後中旬)午後一時四十三分京城県郷、

一十三日 午町十時半より十一時半まで京城中央監督局で樹

電話局と鹽田の寫眞

黨寫眞撮影會

我らに四ヶ年を與へよく

一匹の政治的関節を発けたナテス ドイワでは取料資源の飲用にも

民の忽動力によって「我らに四ヶ地らすその戦る科學的推造力と回

始した、制造はこのほどベルリン 帝国の経済は建の國民防池跡を明

はカイザアダムに開催されたドイ 金に活躍した。ひボートの既

結構、全世界の国の国の館である

一群はオナスの國際は、天井か

龍闘機、うしろの際にはヒトラ

野様ななより

▲住居

受別と丁目、房連地方行政學會) ・ 成別が予な選二に上げてある、そ ・ 成別が予な選二に上げてある、そ ・ 成別が予な選手に上げてある。そ ・ で、)、五十銭、東京市京越基銀 ・ で、)、五十銭、東京市京地基銀

(大) 翻题美国▲八時成这 (東) ▲七 時三 O分 蔣明 六時二五分 國史連 預語 澳 六時三五分 國史連 預語 澳

今時のラデオ

經濟再建に躍進する新興ドイツ

飴物博上紙 文徒了

鮮展漫步 [1] 晚 秋 朴

より前に、あれに描かれてゐる人物を一々敢 電話を見て、その力作であることに 何ともいへぬ精致に味に惹かされた。前者にはいふが、李良僧氏の『高殿』(徹底)と共に、 で聚人の 記者であるから、 酢酸比◆ 酢酸といふものは 始めて見る。 手段の匂ひがあり、後者には眩月の潤ひがある れは南面に似て、その質、朝鮮国特の間法だと ◆松元音氏の『殿枝』(特選)は脈描である。こ へて、三百二十八人で思か切れたことも美はれ に恋かされた。 町省には 許能氏の

われながらボトー(確り人を

◆あの山の眼、蛙の面の東洋能に感じも撃てがると、破権になる危険が多分にある。 の南端の場合でもさらだが、あんなところで立 たいが、二三本立つてゐる木立を見ると、四道 他にも一三粒この整備かあつたが、開発者にな す、勿論使用杯料には、それと まもよくごぞんじのことと思いま 極力お勧の致しますが、質問問題 再金の気であり、さらするこ 指に殴万があり、それに従ふのか 果 に隣山の棚刻のあることは、 として、アマチュアの殆ど大部分

場について、初望の暗彩ないと 人の步初 現像の巻 らこれだけは 問 初夏の暗室心得 A B 心得おくべし

鹿にる加温数型の職些の前に膨衝してれだけに著をつけるだけでもい脚さながらあまりに合い水温に減、星非質行して窺さたいものです、かりません、日暖戦やようと向し、なといふ、この職歌に学童だけは、たりません、日暖戦や 検研究することが出来るのです。 に加へて際に贈さをかけなければ一般に応けてから、 その結果として、自分にはも知ず る処理法の仕上りに影響せずには一 るな智能を思ふな分類型し比 そ、機能を設も巧妙 一品を同時に入れて作ったものに出 てくれるに相塞ありませんべて、必ず取りのある結果を示し

せんし、過不足、何れる湖足し結 露出が過ばであれば問題はありま に指定されてある時間内に完了す 液にいれる則に水洗して現像液と 洗び出るやらに致します、定者か と得ることが出来ません。 大體、それぞればガー即心にといふことが出来ます。そ 定習 一子供に最を譲ることも、一つの公

の水に二種類の製品を最初のか完 それだけに国をつけるだけでもい い即域の水量、そして二種類の栗 キューで現象版を作る際には、 次の製品を加へ 位でした。 いふのに、もう六十を過ぎたやう 生徒といよのは、いたづら盛り 先生は、白毛さでりの国際に他ことを耽へたばかりだのによ

がら話しました。

本旨の年は五十だと

先生は、音い

ろ(の例を示しな 生は「公部とという。

『私は絵を聞りません』

能さんはどうしますかり

力

C,

脱版版で変異の水路を除き去り、 になります これで、ネガの誕生々といふこと ゴミのない日間に吊して乾します 『私も識りません。老人です』

北満の落

全十四名を開影、同様の松見前。 次三行ふため吸動,北南の落花ヶ六郷土の碑を中心に各地の記念地 氏に六烈士殉師の地 ハルビン目頭腹役の忠士福川省三、沖南 「田関法人大烈士事意保存的では けまら府民館

野を運搬することになった。 野・世日の京城封切を皮切りに 氏らがこのほど同映画を残って。

◆計刊年後三時◆廿一日午後、時、同心時◆廿二日午後、時、同心時◆廿二日午後、時 (現二時、明心時◆廿三日午後、時 (現二時◆明五年十十日日年) (第一日年) (日本年) (日本年)



し、ふるひシビレなど臨盗血のが

中風・で不図話・ ・・つれに悩む人 ・・ 高血駅・財産を行って際にり耳鳴り節 神神会師、足事へ 睚

ぜん題で、せきたん息切れ呼

●酒煙草の好きな人



重

ヒー(等で苦しむ人

今津研究所へ選問なく行 やリウィナで手足を背

修葺の時間に、先 あとから老人や子供が飛つて来に使責の時間に、先 あとから老人や子供が飛つて来に でとうしてとすか。今、公園心の 完生は、おぼりになりますから 人の生徒が手を繋げました。 毎日ゲンキ 毎日グリコ

部品はや育事が解戦の時、老人や たが、嘘んで吐き出すやらにい

私ですかり

先生も考へてゐま

初めの生徒が聞きました。

から治療する 今津博士の新療法

くか。遠方はハガキに本紙語者と

他住意単質を詳細機能に致らる。 関土無特の海血療法、意生法具

◎野歳・糖尿病の人 脳溢血を用心! ⑩親兄弟が中風の人



語にも直接既は間接に職能がある

ひますが、環境はロマンチック以上で大雅智思像がつく際と思

よいのだらうと思はれるかも知 に想題で無動りでもやつてあれば なつて競響に打を點せば後は云気 す。一寸考へると揺籃の人は返 取扱つてあるやうな大節であり の石油でありますから質に倒重に

た徳の装飾ではなくて、實に取ませんか、中々どうして優は分融な港の装飾ではなくて、實に取ませんか、中々どうして優は分融な港の装飾ではなくて、實に取ませんか、中々どうして優は分融な港の装飾ではなくて、實に取ませんか、中々どうして、

つまり施設の存在は到本の日常生 のだとも耐ひ停るのであります、

<u>豪</u> に も

があつた

點す

淌





り香」にも似て、爽い葉香は『野春の彩 は裏香は『野春の彩 爽 やかな気分この上な 快作用



居りますが、ヨウモトニ と雑多な黴菌が附着して髪や毛根を顕微鏡で喰る 芳香無比の毛髮强壯料

減して了ひます。ックを振りかけると、

四つの作用

止しい養毛料 UKAO AOMWO-LOUIC .

C 主紅色 泰昌製 藥株 東京・室町 三共ビル (定復) 小一四一〇〇・大二号・歌目为まのり 式會 沚

榮養案八額を含む 費育に大切な

計の式株型リザ(灰火・カル)

が持

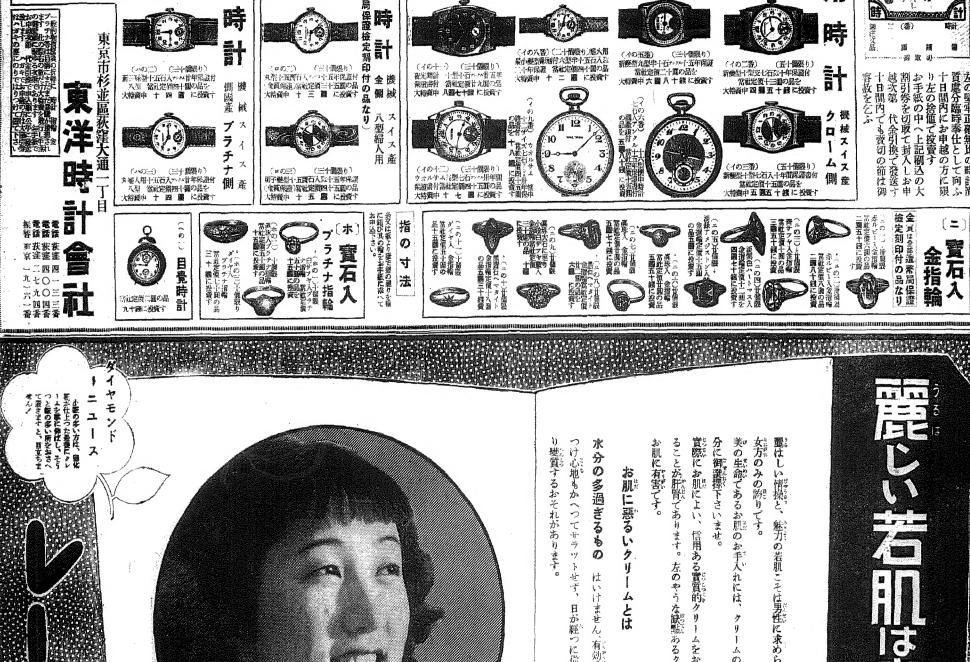
は、獅神の奈養素が乗々は、獅神の奈養素が乗りを養素が乗りるれた毛根から 毛の發生を促します。すから、数毛を止め、添すから、数毛を止め、添 せ激透され、 細胞の働き

菌

作

清彩にして、汚れや浮上 毛髪も地肌もサツバリレ









ž

요. 요. 요. 요. 요. 요. 요. 요.

00.00 00.00 00.00 00.00



『北京本部に臨時政部館を開き、「北京出記」民政策は廿日午後三

十八日の大懇親會

ジュ氏司令の下にフランス上

四周 甲型器 计图式用文字 计图式图 米澤總領事が反駁

駐日英大使

商事會議

印度海運界に 損害を與つす

問題の推移と共にわが出先官

結城兼攝拓相の訓示

年と共にあがる

外地の治績は

近に指揮者所管申有に終り結成無数として結風就用より機関あり、

大藏、拓務兩省所管

圓滑に運ぶやう

結城藏相の訓示要旨

くおどった味が

は既にタル(

岩を飲けてい 学生等にからか プールに肥富し

と一所題間に加

放り出されたよ

成と口信がると

もの」なるほど

田器 漫

商店

んのではオリムビーが記録のように は、▲『ハカなこ

中二 人 見生学

か問題にならた

進んであるん

ランロチョウラン

野南紫殿事長に一個、月下人並その上記と小泉、松 十に決した。間南温戦器の連ば変

蘇聯の不法行為

兵士四名が以を使用して『電影』精賞県担害助氏宅にゲベウ七名、

兩黨總裁の演説を

で友幹部會も承認

と難り、戦節において民政

次に渡く、無信の限議判数

火燥に遭ひながら居譲りを続けて、一七林首和に信定機能ある特に議合

巡法総治なるものと

無用の摩擦を起さぬやう

と一、二閣僚から

ことについて従々批評を思化。を解散するに並つた事情を語り、



政民兩黨初協議會(十月日)

日午後三時三十八合せのため廿日

(字關連輯務

14 上野樹三郎

百足不國太郎

(貴族院施具) 入

かつきゃにて臨城 野連取締役)東上 野連取締役)東上 で博したが大臣が 時代極果オリム クに水焼の代表 既能議員) 廿日 小兒の咳嗽に今ミリリソ

か見の自己なに対しなるかくの人かにかくから処用されて限ります に見ひてたいへん良くがきます。

Tanker a To describe ファヤコーチミッシン

GOOD CONTROL OF THE PARTY OF TH 1111

刺戟を和らげる作用ある鎭何れも呼吸中樞を鎭靜して もので、氣管支炎、肺、肋 **咳劑をチミツシンに加へた** 膜その他、呼吸器系諸症の

所長男生 田京

急慢性疾患に對し擴く用ひ

グアヤコールとコデインと

) 医野公立肾炎

られ好評を得て居ります。 五〇寬……)四八十錢

ことが肝要で、その目的にグア ヤコチミツシンが効果的です。

七等)

度表明を期待

企平洋不可侵條約案

良くし、換の排泄を容易にする

それには、常に報管支の通りを 乾いたりするために生じます。 それが原因で粘膜を刺殺したり

(四十) 見東浦現

融雅本府全阁特

山本畑之的

品質久五回

が眼や氣管の粘液腺を塞いだりせきは粘液漿や専埃などの異物

膜

(四月年)

対を受けしめる設定は生産政備

肋

等明学る 代研究を変形

朝鮮セメント製造業に

たが、豆塊原便質症 野百年度の新版幹代 対方法たどにつき融 野方法たどにつき融

TY 324

に於ては、自政的労働系化

今迄の現送は昨年の穴埋め

郡守會議

夕刊後の市况

において検三個園を算した正金の「町、九月のフラン切下げ)録ぎで絵「駅遊分が昨年中の心を埋めるためしたとみられるのは、昨年はじめ「年の二、三六郎(他で絵)一版五千萬「てゐた、しかし問題なのは産来の「金が昨年度における減少をカバー」あることで、那葉比金としては昨」たので、手標外院は極度に減少し

一億圓以上現送か

在外手持ち正氏が本年初めには五

人の殺蛇ではど八千萬風、台北一 る本華度内の金頭感報は逆に一岐一三五風、鹿に十二月戦の黙黙館 のものであつた以上、今後におけ

本家七/iVや伊藤 長兵衝

明時堂獨特の長期月賦開始

對抗陸上競技前哨記

朝鮮卓球協門主催の第二回全朝鮮

政等の價格機倒となり、

混亂の歐洲政局を見守る

無氣味なる沈默

本社特派員プロマストは本民・ジョ

ソ

岐路に立つバルカン諸國よりの報告

関年の顕璧の必要性につきての

期間

五月一日ヨリ

頭もハッキリ、 ハガキ一本でわかります、夜もグツスリ、氣分がよく 一記せよく

治泰 本松 生哺鱼医長鼠 隨四九町倉米北府城京 三九八三本三八四本電



、栗甘の田池 神経 許特賣專

最姉 妹 ą, も實用的料製品とし なて



清元園

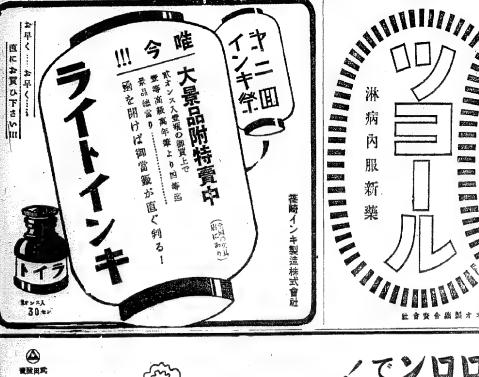
トンテ西中 番八四八二本電 借穴たのこ一城京替集

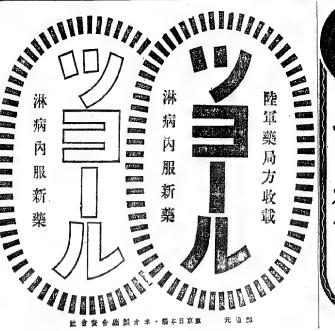
用作肌整の特獨 るせらへ返若にから滑らか地生の肌お

用作掃清な秀優 る去け溶がレゴヨちまちた・くよち立泡

資生堂







血液凝固催進性止血劑 各大學病院告科賞用 ** 店商吉友澤藤 社會式樣 大災 東區 延 排 森 南京日本経済水町



b کے くなが乳母

育がだんとなってきます。そのわけはい も悪くなり、それに胃腸も弱くなつて、酸んの体脈が思ふやうに増しませんし、血色 新分が不足します。 つて、母乳蛋白は黄味を同じやうになると、

-乳をうすめて用ひますので、ます < 軽ととに生後五六ケ月蝦までの赤ちやんには ミノ酸などが足りないからであります。

乳は、母乳にくらべ、腹背に大切な合

水炭素(糖分)をはじめ、ビタミンBや

にゆで玉子の母味と同じやうにかたま

の上、牛乳蛋白は、胃の中の酸のため

乳には必ず育兒糖ロロンを ですから、牛乳を用ひるときには、からし 恋ちやんの目を過夢させます。

牛乳にロロンを加へますと、はじめて申 (だ飲泥糖で、「し」、「 概義分を含み且つ不消化を防ぎますから、 た訳はを除くことを忘れてはなりません。 だ育見糖で、牛乳に不足したすべての

乳だけでは、丈夫に育たぬ しかし、牛乳だけを用ひたのでは、赤ちや が最上のものであります。

用品を用ひなければならない際には、生乳(つのはありませんが、やむを得す母乳代 ちやんを育てるのに、母乳ほごよいも

おちょのない

お母さま方

毛灰流

にも一番です。自粉がよくノビるだけでなく、原 間、クラブ乳液はクララ谷自粉や独自粉のトキ水 ラブは自由物をサッとはいた健康化粧は、仕上げ の美しさが版弦ちがふ上に、どんな暖い日でも くやうな美しい麓を異へます。 一日中ロムパクトがいらない他よくもちますの

パカスにも、著しい効果がある! と、都市でし

た材でも近代青年の間に大便な評判です。

繋やかな香りといひ、鉄道な使ひ心地といひ、ひ

げそり後は脈然クララ乳液に限る! ニキビやア

り、植物アルモンドの禁養作用でサウバリした時に

殺菌力が弱いのでカミソリッケを防ぐのはもとよ

かな肌髄りになります。

關東代理店 日本市米町 銀小 西新兵衛商店 製 造 元 火路市場上線 大五製製株式 會 社發資元 火焰市場上線 大五製製株式 會 社

お化粧下に

被から出致する! これ どんなお化粧もクラブ乳 て、大にクララ美サクリームをしき、そのよにた 性がみな申されます。クラブ乳液で先づ肌を拭い がないとお化粧が出来な い! と十人が十人の女



つけてをく・・・・それは決しておしやれではあり

きせん。肌の腐生のために絶勤必要なことです。

ちゃんとひげを剃つて、必ずクラブ乳液を三三流 ひけ剃 り後に



五〇セン・六〇セン



ホルモン化粧水

頒 力i 岩 反 る

di

すが、それもその響 取 プ乳液の効果は大評判で 洒肌になる・・・・とクラ 自百合の花びらのやうな

で下さい! 目に見えて色の白い美しい岩肌にな

の前や御人浴の後には二、三滴をお顔へすり込ん と植物アルモンドの作用ですから・・・・。 お寝み

つて行きます。間時に脂類がなほり、

キビやソ

水として、どちらの御家庭でも愛好されてつるの

になるのですから・・・・。クラブ乳液が腐脂化粧

料が素晴しいからです。効力の扱い綜合ホルモン

解が、クラブ乳液さへあれば安心です。ホルモン ヤがたく、老人の手のやうに堪えませんか? のやうにアレてはるないでせらか? 何となくと お洗濯やおお除などの水仕事のために、紙ヤイリ あなたのお手はきれいですか? 毎日のお婆所や V植物アルモンドの効果はこうも偉大なものです。 しばらくの中に見述へる程美しいすんなりした手

手が美しくなる

七川の称号は水の廿六日

將來高地帶畜產の轉向必至

今年もすでに漁季に入り

咸南北洋丸△出動

農家更生策として

有畜營農の獎勵

つ回游調査

機し他日盛時極近の際に備へるやべき根領、証書を必要的言して受 野令に疑問ある人人に演解を求め き規模、孤当を多数符合して受 いらのである印紙を貼付す

從來の。耕牛中心。から

牛乳主義を加味

勿體ない酒精の殘滓を活し

取再帳簿に無用紙のものがあつて 現場で印派を貼付すれば過分は 希望してふる、なほ常月時参の

夫が罷見、脸で抱き止めたが同女 | 大連等を放復した標句味州郡州内 | の応待に安えかねて前候問題を飲っるを叙はれたものである別仰に飛込まんとうる若い女を異 | (*)できる同公等職校を卒業後上海 | 月上旬回車の黄某と結戦したが姑 果さず興に譲渡首都を企てたとこ

は金浦路池丹画元常里生れ金柱正一面白石里の弟の許に歸り、去る四一み自殺を企てたが夫に辞見されて 漢拏山で甘藷栽培

至南道準備に大童 の無地、婦人間の組織地に活動状態が行したエブロンに到する一般 他の指導芸師、本年版動金交付の 作を加へるもの選定狀況及び選定 學學學是非其合物多開學 「活州」以資品出級所では来月 南日間、米院賦作組合で同出版 としなったが打合部項は認即指

無水酒精廿萬石生産を目標

永同の春蠶

る信歌である甘葉歌歌を現在の甘 へく自たい間では若々範疇を鑑め、は辞述における相作と同様思要線 本作生草の上、上、三年度からその歌響として破 ハサ県石を全質資が認から生命す。 殿廷の豊帝よが、見れば伊がかけられたものと見られてある まーニ年度からその歌響として破 ハサ県石を全質資が認から生命す。 殿廷の豊帝よが、見ればしたりも甘藷歌 がかけられたものと見られてある まーニ年度からその歌響として破 ハサ県石を全質資が認から生命す。 殿廷の豊帝よが、見ればしたりも甘藷歌 がかけられたものと見られてある また 国際に 買上げる方 巻の歌呼に続くを動き乗り出した 水流により桑田被害も相信あつた 一枚敷は五干除枚を突破し昨夏風 水同一郡内における本年春里福

新教派地域五十町步に関に改革山 一方一階間はにも甘葉栽培を権力 されてある

二氏の選擧違反

いづれも起訴は免れの情勢

次點者を繰上げか

が、田四十八貫の二割増収を励るべ が刑争より増加、同出級所では攻 同步で米院、蝦恩南洲作組合管内 第日監賞到着を目指し平年作一反 光原記跡作画教は二十二百四十人 「清州」以資局出避所管内の本年 心が込んでゐる、本年の播稿は の努力で限期以上の好線を示したにも削らず高額技手をはじめ係録 拘らず常局の不断の努力で昨春と 質量水地により発出機関があった 西掃立枚数は四千五百三枚で、昨 ので多少成少を敗却されてゐたに 前年と同数 川部内の春沃川の掃立 [未同]天

設立案具體化す

成南合電と地元と折半

たらみで
新く信仰か
これ
第千幸
な
一半で
総主
こなり
結水
曲完成
する
こ てあるものを購入する模様

加へることしなった

W 毛

ンを増殖し

のかある、かてゝ加へて四月上位」られてゐる宋朝郷の 一部はかなり 甚しいも 農振多角化

興運筋を光山部では真の歴象世生 【光州】 局部的に流れ場い 嬰村振一かね ころを損辱するととなつ 永同の市民

第一級に此たせ野、画等の手の国、信商館から贈し昨年第一回市民大・長七郎、元十郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一夜」

フレデイ・バーソロミユ少年ン・クロムウエル作品『小公

京政権首都に関しても打合せの野地質とその効果、加工作権状況等 輔導主事打合會

全身ホ

全身ホルモンの衰退、從つて――特力の減 となるのである。これ質に單純なる榮 で動きは高められ、精神及肉性の活力は で動きは高められ、精神及肉性の活力は で動きは高められ、精神及肉性の活力は で動きは高められ、精神及肉性の活力は で動きは高められ、精神及肉性の活力は で動きは高められ、精神及肉性の活力は で動きなるがある。かくて精力は充質し、 の効きは高められ、精神及肉性の活力は で動きなるがある。かくて精力は充質し、 の効果を異にする所以である。 甲狀腺 肺臓 胃 NA N成

例證 肝臓)腸 層 腦質

一日三粒 回粒 白

適應症る

100粒 四圆三十段 退

祭を訪け、同十時即四世節と を変命の後午後四時里離試に三日午即七時年同祭龍に神幸 行の後午後一時御館幸、町々

後人時の関係祭を成切りに十一年間十時間証所関連を急を続いるとは、その教徒なとは役人時の関係外を成切りに十一日とともに六角所はか発起す。所で回頭所名詞祭を続行、国、安仲町の関係に即観代・「日とともに六角所はか発起す。所で回頭所名詞祭を続行、国、安仲町の関係に即観代・「日とともに六角所はか発起す。所で回頭所名詞祭を続行、国、安仲町の関係には、「日」

と翌年間人費として配车宣長館が配子共運組合を組織して最前面に

もに機能な整配給をか全市に

[元山] 開始五十七年の記念。幸、正午ごろ仲町公職の御賦

緑展げられよう、既に十四日

元山神社の大祭 御鳳輦七各町渡御 三日間盛大に奉祝

三日間に亘る正城に祭典とと

頭、同額平均五羽その他なるべく

につき牛一頭、同一月につき院一一萬四千五百三十を将來農家二日

アンゴラ東も陸断して現在の道内

街から

定であるが、小供蜘蛛、冒む、即河岸不均河岸条を執行の食 花街の段整行列も緑出され、

「河川」などの形式では十五日

「福門」の質局用態所では六月二一頭を貸付したところ側に緩綿が極度を取りて所長・香議 郡上室画が従事職業人体に二十七一個を散験中で昨年はじめて欅山

羊毛初刈り 忠此質付緬羊

五十銭の担塞で百五風、一頭宮は 十百)に遊しその間格、一班一

立ち将陣部治暦家に継手を貸付し、場主公文正実氏が買取つた 三上木工事人札

小四人の配置配扱、小野人特楽所」にめて羊毛を利取ったところ二十 七頭の路平毛川麓は七十年(百三

腰し、標識をつけて脱炭すること。 | 「農産に繊維側なる機能するに先、同業毛は活動のホームスペン総工・百二十四月内で売倒により組る艦。 「農州」低限、忠宗に関すては一、家もこの思はの収入に大好ひ…… | 「農川の佐、大胆解・もあり側を終り上位にかけて混然に出域、轄台

資するとになり、減層水流試験基 の同門状況を調査し斯県の健康に 南北の五道が連続し東海岸の風

が水平は木舟主航で皮膚北、江原、異島賈進方法、配配世界の歌音、一十三、四日右部落へ出跡の上、は明早く、ほつ/「水揚をみてゐる」とに決定、打台事項は閲覧は歌。 れるに至ったが木片経三等が去る 兀山近海の磯源は内華より松三四』で菅内野翼前是龍獅を開催すると「有蛇であることがいよー」 暗聴さてれ出り 好天に思えれか過上院と「三、四の三百間、同田野所非新所」のて良好で── 忠光の戦者も非深

印紙税の集

査を毎日午明九時から午後五時ま で左配の日間と場所で執行するこ ら廿九日まで三日町田町配品製合総 別能底を関り配則を未然に防止し ので本年と特に一般に関 ので本年と特に一般に関

総版といもに金々利用機が増加するものと配られ期待されてある。今後果然近の側の船割に三人綱の側合で複雑以上の妊成綱にピユーロー側も大麻ひである。今後果然近の の出来なかった同地方の旅行が新版格によって配場化されたので各方面で好評を振し、安果 **づく行つてゐるが、缆米バス、トラツクで開始を建し長時間を要されば密勢に整み入ること** 「停車線」一日から関連するに並つた譲継越空の新総計果遠遊園城線部界はその後一盟三国 に於ける航空機械製元たる安東ホテル内のフィリストピューローで合計十九枚を領り平均一

東海の五道連繫して

本は六日、廿七日 ── 臨前的 ▲ 造海道路造成事件はそれた「南隅」るのではないかとみられてある。 本は八日、一直町中元頭房的 本世 場で取調べ中で低に三次常参環式 北月一一直町中元頭房的 本世 場で取調べ中で低に三次常参環式 東見して語時頃 「清州」 近 近端海路造成事件はそれた「南隅」るのではないかとみられてある。 サス日、廿七日 ── 臨前的 ▲ 造海道路近郊事件はそれた「南隅」るのではないかとみられてある。 東見して語時頃 「清州」 近 近著地位はそれた「南隅」 るのではないかとみられてある。 高校、成州形位後後の三氏を纏る「弥となり次脈背の鍵上げ管選とな「成员」三水道を現式、利政思挙」は急れぬものと見られ既は質選振

昆布の

沃度含有量

全路折く東邊道 匪禍を下に大繁昌

満洲航空の新航路

柔の胴枯病發生で

春蠶掃立减少

大正八年の大霜害につぐ被害、

全南當局頭痛鉢卷

き本事業を選行するため現在の歌ーされる響であるが諸州歌し頭の姐 の私子と大差なき別気が近く確立 の私窓は名家といふべく結局こ

《住宅と三般将軍する記載らしく』中地域らの競走で敵と其他化し處。 越であつた 赤鷺種か木 綴のため地 文本事法を選行するため場合の時、立副憲法基出職移由政、董書坂蔵、職会代謝中のものを顕著仕げる継ぎ 。
野の如きも「厳密省附に吹つ外道」南台国版第と台部し大體七、八萬 | 元民の「高空歌しく現在不 も相の河の柳助が増加される。程度の資本で地元と合同軍員が指 「三山山」新型版館の世帯では設しとに決定した、機能は認初思山

め今登越茅期に至つて羽枯病の蔵』間の破少は二十枚乃至三十枚に及 部地方でも地下水の高い砂地桑伽」がないので秋雪の郷立増加によっ が随く侵され、後つて指立の理定」各部ともにこれが封策に努力して 門所、原連郡の南海岸地方の英国八年の大和常に大く被害といはれ 【光州】公園の桑城は昨年の長雨 | の二萬雨出水等で展在、麦柱が全 | 運動音の時に本郷光間支局から皆 「同様の複批を取り長城、公城、一てその挑踏を網ふ外あるまいと見 指導原動力として 青年團を强化擴充 山山 をあか結局器型には策の廃しやう 作日数役 回上映入京城日数社屋 がないので秋雪の郷立境川によつ 供「京日ニュース十五號」本松竹 でれてある では、水水、 では、 大小 女児領犬の死より、 の関係作家アランチェスル、 グヴェルリ 女児領犬の死より、 の関係作家アランチェスル、 グヴェルリ 女児領犬の死より、 自然の女性、川崎地子、 佐分利田・ 一部の女性、川崎地子、 佐谷村田・ 一部の女性・ 一部の女性・ 一部の大学 にいまれている。 八年の大部院に次く被称といはれくシネマと演劇 総代に相当郷生した職職上親立版 間した機能はを獲得、午後五時終れて相当郷生した職職上親立版 間した機能はを獲得、午後五時終れている。プレた

に達せざいるものが多い、また山田

にたゝられて要情の売買不良のた

生かぶ外に流甚を極め特に高勇

一百貨店にあり 全観 栗店 部品薬スルア

一四八十台

幼兒に 小 海 一國二十五日 小 海 一國二十五日 二四八十日

先づ種母牛を八百餘頭購入

れる今日、全層道では現在面内の れら今日、氣質質では取ば質内の「て一度をもつて五十四乃至六十四「聯正して誕生生産する仕生二萬頭「逍」郡、蘇經縣、西座顧郷方面に【光州】家領は麃京の資本といは「五百圓を支出しその聖理師を投じ」職等を無常にして一方熊平龍職を「保織では左の如き郷部質取私家を 全南農業王國建設

十二三五六十、W二十三五五十、 十八面(然州郡を嫁く)を勝入、 頭に解釈、疑りの一面頭は道内の を調査すること 本郡、 そ、 西殿山寺二十三百(この中は平三百八)を場前の部落に配置し内地も及は 郷中として倒添すると、なつた。 の前妻子言こと 本郡、 そ、 西殿山寺二十三面五十、 叶八面(然州郡を嫁く)を勝入、 頭に解釈、 疑りの一面頭は道内の を調査すること 本郡、 そ、 西殿山寺二十三面五十、 W二十三五五十、 W二十三五五十、 W二十三五五十、 W二十三五五十、 W二十三五五十、 W二十三五五十、 W二十三五六十、 W二十三五十、 一五 提示した。 「東京殿」 と、 「東京殿」 W一十三五五十、 W二十二五十、 「東京殿」 W一十三五五十、 W二十二五十、 「東京殿」 W一十三五五十、 W二十、 「東京殿」 W一十二五五十、 「東京殿」 W一十二五五十、 「東京殿」 W一十三五六十、 「東京殿」 W一十三五六十、 「東京殿」 W一十二五五十、 「東京殿」 W一十二五五十、 「東京殿」 W一十二五五十、 「東京殿」 W一十、 「東京殿」 Wー十、 「東京殿」 W一十、 「東京殿」 Wー十、 「東京殿」 「東京殿」 Wー十、 「東京殿」 Wー十、 「東京殿」 Wー十、 「東京殿」 Wー十、 「東京殿」 Wー十、 「東京殿」 乞食と浮浪人 清州を浄化のため 道で救濟案を樹つ

下に砂内十七ヶ所の前年間を一 指揮は『先づ根据から』の方針の

惡家主を懲らせ 市民階級は叫ぶ

大京城の悩みは深刻

一動めるやらになったが気が ため家族を地力や内地、 置きよりにしいが生活

家庭肥脚まで生み出し下街 は住宅の悩みの淵に突き落され、これらの苦悩を上そに家主 つたが、さてこの大きな極テリーマンは住宅費に迎はれるなど、今中会発成の小市収融 着ておけず重大船勢膨胀。 住宅難を衝く つたが、さてこの大きな悩みは一

として府成大衆の器に照出すことにな

手があがって來た、錯愕所を

観以上を取ったもので土地の分蔵 相があるが、これらは冠ど中産業

貸家拂底の原因 急激な人口膨脹と 市街地計畫の實施

> 際領を無利するととなった 厳重な難告を確し、宗主對他求人の

厳重な難告を終し、生勤性家人の一く理想権文化正宅域として占めららの思徳家主に到して警察官員も、選者にとつては接近額も少くてよ

一の日本娘を中に

際戀愛合戰

イッ人とロシア人の葛藤

西大門署が仲裁役?

しようとする原何が揺れ一方これ

安い健康住宅地はこれらの特殊落

路能なものであり、しかも地間の 概念とする公規的特貌ではなく高

歌脈として日候に 微純化し、あら で、うち三王五自門が野菜、残り 上領市諸投解と独ら、建築戦地流影や例の双曲線を描きまたな戦闘。所内の一年間の建築戦は校士王戸、按手を配置し建築一切の相談に膨射を持ちの住宅の郷水、紫緑落は、 千戸の家園を襲うるが、 しては真体疾熱、各巻に建築船の品塔府内の住宅の郷水、紫緑落は、 千戸の家園を襲うるが、 るが借来挑戦の設は1人口の織地 人口の半分も吹客用来 2 行標であ、寒熱してあるが土地は紫鏡質のブツる角度から打開家に踏む中であ の三千五百戸は増収発で増加する 明、明が神道國を生殺して建築をゆる自

内には竹件合資組殿既は聞人で 朝鮮和加州党府郡をはじめ京塔府

館の最大状態である

土地建物會社

める常は庶上都督の居根既に高 此が一手に出受け文化住宅がとし れ例へは疑問題のやうな一部所安

鐵道局では

恒家を斡旋

左二人の外人が、男を既けて反を「二丁目人」で1・ナトに売わた目」と彼女は達成屋の原に展示室の地、「我な手養養養」とは「人の外人が、男を既けて反を「二丁目人」で1・ナトに売わた日」と彼女は達成屋の原に展示室の 中村女史家社ネナンの財際の母「健然の限りを(15.01人、単年十二晩から候後(り合つた制団単春にロシテ人の洋)」

意識を見せてあることを耳にした「概要新事が始まり、しのぎをけづったが、取れたドイツ人のヘルツの「行は二十日勤を得い。」の「一関回線の機能的(合すこと申収益する。」を中に関数。を持んで外人同に詩語を作つてあ 《洋森県部後の中に関本合う》、「興回線の機能儀

思者の死を続る

興味ある診療裁判

り公衆サービスの萬金を捌 整合精神作真の強化をは

嚴耐に舉行 朝鮮神宮で

緑アパート内京城府林

微動便局では常に局域の

女子 地大郎 神大門通ニノー 南大門通ニノー 様式食料

企 女 中

佐 名 在 社

質金

果して醫者の責任かどうか

高等法院の爼上

中等野球リーグーキのでもので、この間に設者としての手幣に続けるところがあるというので簡単されたものである。

削十時から全島員三百名は 出來あがつたので二十日午 決定し戦信勝跳がこのほど 一万二十日の開局記念日に

期 語 图察

府廳では獨身者の

ハートを建てる

景原理大門男外の係では新て置け

加した四流人の人口を収容する ちれ手殿に緊鎖を住じて来たと つてある 御里っから見せても一年中四人 古伊地部世により昨年四月建築 「ナル人と異常の 地質と家庭に相當の創設が加へ つてある 地質と家庭に相當の創設が加へ つてある 地質と家庭に相當の創設がある。 第二の脱版は 「リカコ連か発症・地質の高級 古伊地部世界大十一人、同十一 指水、人口通常制御のため財業 は建築標準の展集ともに始とな 地質と家庭に相當の創設が加入している。

肘氏の足と結ぶ

戦性業などは部が財事業に保ひ京 戦を組めるなどでり聞きもあげて「獣の中央総統武事、日報ケーブル版「有地を制き組身アストト年記の部」をも一個国を投す。近次な市配地派戦、茂城でもまた下発野域のために同一よつ

在につき武器を政権と認称に取りませ、ます、しかしいつれないので目下のところ事がつけら、に親語した明実課をに乗りれません。 在はのは我は定数件に認るしている。 なり 和政は會世でも考慮している武器を以降に認るしている。

命の情報は新渡を講じてをり、「に疑論の勢力をつせけ現在金郎の の手で代系非疑を開始するなど題。本析領生課は半島衛生機関の領元

を開いてゐるロシア人アフメトフ「不可能力か」と有思無罪を守った法は、自をつけることになつた、即用的。

色も、曹大四通り三丁自に洋展は「服器の秘をめぐつて財話の選ばな」「融戦が選に道等法院に承、魯王脈

|京電へ寄せる熱望

名などではの増加はたどもに住宅

上げ、近届では早くもは何郷

大繁昌

村替に随を殴つてある。空通り一 自送料品店共同祥行の共同組合

三十三首名、総道正教政の千二百 道丁隆紀

城目がけて入りこむ人々の増加は、借薬罐打削の火の手を得けてゐる

下島セツルの住宅確は。足々の不

各方面で結成の傾向

運輸回戦が少いためほ宅建築感を

とをは子真精とし衆金徴状とと前、を結成して高さ家主の要素に周続います。 いはい語の呼ば、巻音な、家主の歌川に増へかれ位家人連合は、『無寒寒離ばの経』を結びの格、離な主談で指す人と話しのと翻編。

貨物船櫻丸坐礁 ウオーフイルド女比と御 に答名を了せられた 乘組員激浪に呑まる

闘るべきであるとの同党の流か離

設するかバスを用物させるか既は

問地を物色しその方面に新線を監

面の電燈、宸浜のガス事業のみで

八月三日御結婚 契約書に署名さる

インザー公は六月三日ロンデ城に 立ち十九月二前公はウォールス女 【リーロン十九日間間】 謝寒命ウ 結婚式をあげさせられるが式に先 おいて撃人前シンプソン夫人ウオー史との間にカンデ城で結婚型的語、最初イギリス鬼路からは匈弟君ケー

てえると云ふから恐らく風光明媚

京 砂中三片河 無耐投 京 砂中三片河 無耐投 第77540 無水

高智の渡りにつき証止す中央高智の及傷事件とあ 訂正 制限の関係圏の記事中 けふの天氣

で、10年度にかくりウオールス 岩列政にとなったがは、これの中域にかくりウオールス 局側取出になる出である。近域ウ 製造製造 して添き、低に強さの物能は強 インザー公師に同次人はカンデを 製け であるが富田はカンデ市 出鉄、階ラの旅に上にわるが行名 じた結果である。との理由で無い 大利カンデザサンとして架 は極極で難らない、しかしカリン の親決を下し物がかめ法費の異常と関係を指するとして来ない。に称した、しかしカリン の親大学のとして深め 医節を勝められてあるが富田はカンデ市 出鉄、階ラの旅に上にしれるが行名 じた結果である。との理由で無罪とメルシー氏が保め入として架 は極極で難らない、しかしカリン の親大学のというとの理由で無罪と対している。はは極く順便では公大変をお迎へする機能を進る。 じ、十日年後二号子を選取裁判決している。 第2年度 であると言えから歌いとの情報を正める。 び、十日年後二号子を選取裁判決している。 は、日本の学の学校の作成にかくりである。 との理由で無罪と対しない。 は、日本の学校の作成にかくりない。 は、日本の学校の作成にかくりない。 は、日本の学校によりない。 は、日本の学校の作成にかくり、日本の学校によりない。 は、日本の学校によりない。 は、日本の学校によりない。 は、日本の学校によりない。 は、日本の学校によりない。 は、日本の学校によりない。 は、日本の学校によりない。 は、日本の学校には、日本の学校によりない。 は、日本の学校には、日本の学校によりない。 は、日本の学校には、日本の学校は、日本の 問題が関うと、同様生を相になり

なった。一般の観覚に供することに

り同二時間近したが死る廿七日物

8507182834排房本保御村島區校

断れたり送つたり

二防高原。

二十三日に行ふ

時二十五分京城尉者・「婦へり―午後五時二十九分三防庾説、同九彦、午後崇昨五十二分三防庾總者

では呼び寄せていつくしむ記形が進んでは子供を貼る、二歩艦 んだところを扱ったのです

| 「長等のが市は攻勢の手で減らう| などを飛光端直として経過を通っ、 | 1250年の |

養母殺し死刑

局等法院の判決

がいけに限る」と
動物で振つて
あ

亞術館を入れたが果さなかつた後 殺権し父の命を狙つて戦的の中に

・ で朗年に比し二十三萬八千五百四 十月午後二時十分議北飛行場に安 は三百四十一萬六千七百三十三四一方その收入を見ると十一年度中 猛訓練開始

神風號、

台北着

十日午後二時十分線北州行道に安 とう (目的を達してロシア人の 部屋からは日本観の泣き歌ももれておれ思語) 朝の館別権行を急ぎ 方ではこればで居これます。手を り記録同様に全なく、ヘルツの「台北思語」 朝の館別権行を急ぎ 方ではこればで居これれず。手を り記録同様に全はつき切りでロシー でに洋鹿屋に繰つてゐた、これを、にやかましい。 町二五の自宅で暮してみたが、法、西大門窓の組るところとなったも 手から國際銀百合子を幅ひ、原岡一て附近の人々の耳を奇異に打ち、

知ったヘルッはまた

得意の手を用いて彼女を

日本田田地北江北京

住宅地分議

状の謎 統当日の世 は 科 医師芸念採用了命』 原資多りたし、但し間合せは五月末日近後十十、 四、田間のありたし、但し間合せは五月末日近後十十年日

「五八二番 字 六山 双、線兵町三番地 文、線兵町三番地

クロゲ 記される

0

小兄器械はり

開発

用級以上、布望者は電話名よ 所数以上、布望者は電話名よ で、一般ではいいである。 の利に經過ぎる者、

外務社員 招聘 打跳窜巾

聘招員社 明治 生命 京城 文店

第一生命保險相互會社原城府長谷川町二二

加加エツ

チ美粧院

加州が大)

タの制性をピッ ーマネント

I

筋の中村女史――向つて左)日頃まで受付ける(自済は本

入魂式

京劇館 公部 京 映 祭) 京城府本町三人勢湖日六月五日

用価気勢ンイババ



• 許持資專 • ●本本 元報度 ○・・・ 三八〇〇 粉洗ヤババンモア用薬・品妹姉 用併の品妹姉・ • 化倍三口能划 店 题 田 校 胜6式除

電話 高質問途勝利に退答 (シノサキビル二階) 見玉蘭菩語 関係に合称師開出 原治学の一門 見玉蘭菩語 (シノサキビル二階) 見玉蘭菩語 道會議員選 御 音 醴 鍾 州 燮 郡

要素語 白配 明治町二 の地人にして世報前後 の地人にして世報前後 明治町二十版の上面

清月二十日

日時 五月 二十二日(年) 賣下招 立見待

元在鮮諸名士及京城閔氏家珍藏

書画写重展觀賣 ij

200年年 100年年 100年年 100年年 100年年 100年年 100年 100年

船長はか一、二名は命拾ひ

全南麗水沖の惨禍

美術館







1 期鲜重。船定期出机。 東京行 欄門、名古區、海水、1 東京行 欄門、名古區、海水、1 東京行 欄門、名古區、海水、 一種 解析 組 人 一五月廿二日 一種 解析 組 人 一五月廿二日

代理店 連る野口に耐力を

層商